



# ほのぼの宮内新聞



〒944-0097 新潟県妙高市大字宮内92-3  
・TEL 0255-72-7007  
・FAX 0255-72-7017  
・有線 3-3467  
・URL <http://www.araikeinanfukushikai.or.jp>  
・第6号 平成24年3月10日 発行

## 基本理念

- ① みんなが笑顔で生き活きと
- ② りがい生きがいのある生活を支え
- ③ ちのように安心してくつろぐ事ができる
- ④ 域に愛される事業所を目指します

## ★インフルエンザにご注意ください!★

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによる急性感染症の一種です。発病すると、高熱・筋肉痛などを伴う風邪のような症状が現れます。さらに、脳症や肺炎により死亡するケースもあり、免疫力の低下している高齢者の方々には特にこの時期、注意が必要です。毎年インフルエンザには流行があり、予防接種をしても感染してしまう恐れがありますので、感染しないように注意をしていきましょう。インフルエンザは口からの感染が一番多く、今回は正しい手洗いの方法を皆様にご紹介いたします。

石けんをつけて、手指の各部分を丁寧にこすり洗い、ぬじり洗いしましょう。十分な流水で石けんを洗い流した後、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取りましょう。  
手洗い・うがいで、インフルエンザとさようなら!



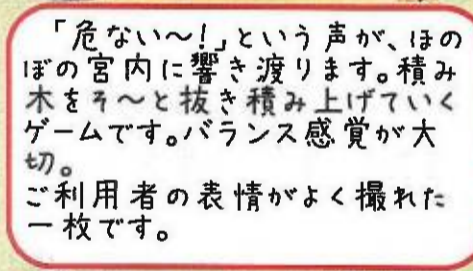
## 日常の様子



こちらは「鬼のお面」作りをしている時の様子です。これは、「俺が作ったんだぞ〜。」と喜ばれていました。毛糸や折り紙を使って作成した渾身の作です。



ほのぼの宮内に鬼が現れ、退治した時の様子です。ご利用者のみなさんは鬼退治に必死でした。鬼も、ご利用者の迫力に圧倒されたのでしょうか。



「危ない〜!」という声が、ほのぼの宮内に響き渡ります。積み木をそ〜と抜き積み上げていくゲームです。バランス感覚が大切。ご利用者の表情がよく撮れた一枚です。



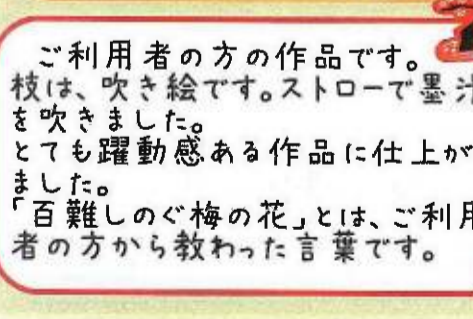
鬼のお面をかぶって記念撮影の一幕。来年は年女?と話題が尽きませんでした。「福は内鬼は外!」と大きな声で鬼を追い払いました。



お花紙を丸めて、作品作りの最中です。和気あいあいと話をしながらの作業が、ご利用者の笑顔を引き出します。



チーム対抗のゲーム。外出できない冬は、このように、身体を動かします。この後、白熱した戦いになろうとは誰も予想もしていませんでした...



ご利用者の方の作品です。枝は、吹き絵です。ストローで墨汁を吹きました。とても躍動感ある作品に仕上がりました。「百難しのぐ梅の花」とは、ご利用者の方から教わった言葉です。



ひな祭りの飾りを作りました。今回は、個々に作成して頂き、好きな色やデザインを選んでオリジナルの作品を作りました。



## 研修会

研修会とは、職員の知識や技能のスキルアップにつなげようと、職員間で定期的に行っているものです。今回は、認知症と食事について研修会を行いました。日々、ご利用者と関わる中で、ご利用者やご家族の不安は何か?安心して安全な食事を召し上がっていただく為には、どの様なことを行っていくのが良いのかなど...。職員で意見交換を行ない情報の共有化を図っています。



## 編集後記

今回の園報6号は、今年度で最後の発行となります。事業所内の行事や日常の様子などをご家族の方々や地域の皆さまに知っていただけるように園報を作成いたしました。いかがでしたでしょうか? 今後も、ご利用者の方々・ご家族様・地域の方々へ広く情報の公開を行うと共に、皆様に愛される事業所を目指し励んでまいりたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

担当:早津